

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月30日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【雨水散水処理装置用耐圧ホース外れについて】 構内に雨水散水処理中、処理水タンク出口の耐圧ホースが外れ散水用水が漏えい。 散水用水の放射能濃度は検出限界以下であり、排水路モニタの指示に有意な変動はなし。	GⅢ
2	【窒素ガス分離装置(C)自動停止について】 窒素ガス分離装置(A)および(C)の2台運転中に、(C)が空気圧縮機出口温度上昇により自動停止。 窒素ガス分離装置は1台運転となったが、格納容器への窒素封入量に変動はない。 また、窒素ガス分離装置(B)を起動し(A)および(B)の2台運転とし、(C)については点検を実施。	GⅢ